タカラ システムキッチン
セミフラット対面キッチン設置説明書

もくじ

1．設置される方へのお願い

●本説明書は、セミフラット対面キッチンに関する設置説明書です。フロアベースキャビネットや、その他のキャビネット、およびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

●ワークトップ高さが900mmの場合は、台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。

●設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

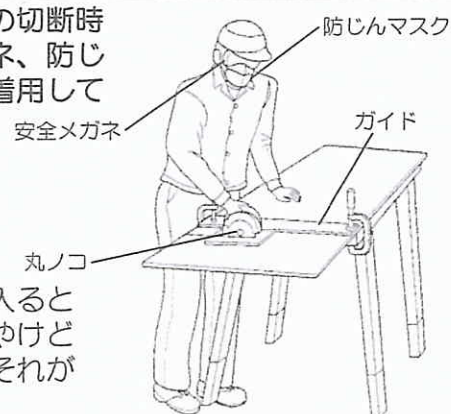
シンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。

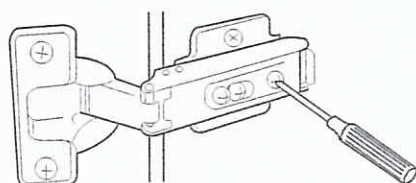
手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

ホーロー部材の切断時には安全メガネ、防じんマスク等を着用してください。

切り粉が目に入ると失明したり、やけど等損傷するおそれがあります。

⚠注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。

扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしてがって、正しくお使いください。

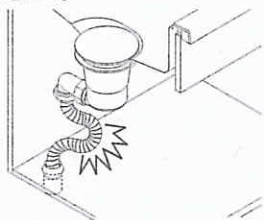
誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因のなるおそれがあります。

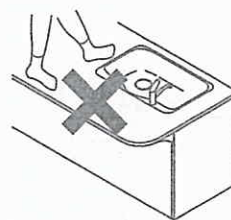
排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。

取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないよう、正しく取付けてください。

取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。

排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。

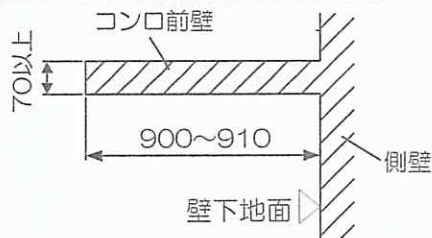
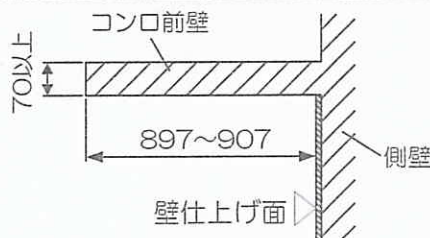
ワークトップの上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。

ワークトップが破損、または変形するおそれがあります。

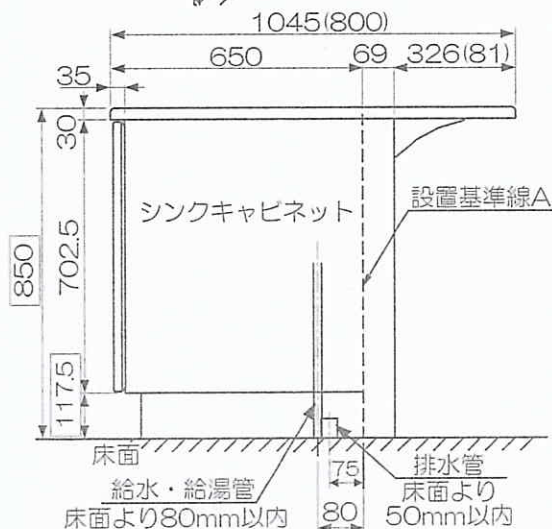
キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

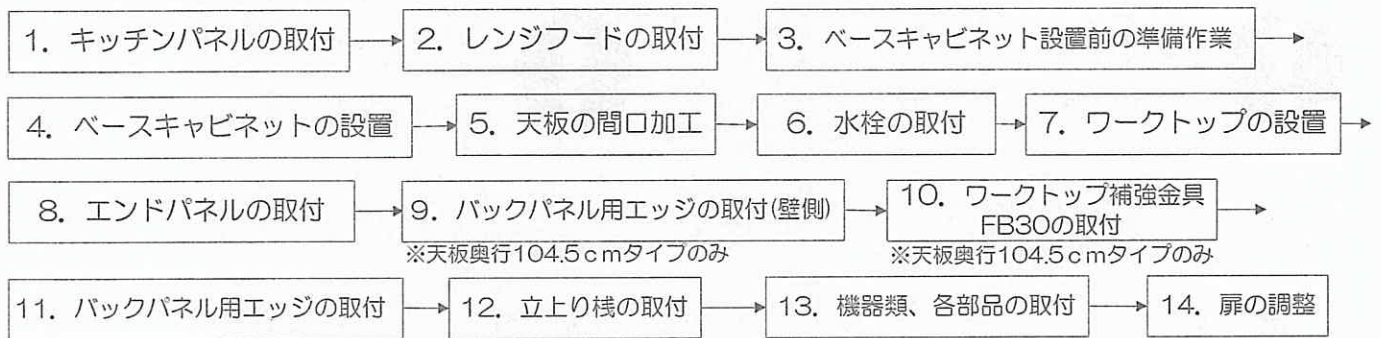
3. 設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
●コンロ前壁の間口、厚み寸法を確認してください。

側壁仕上げがキッチンパネルの場合

側壁仕上げがキッチンパネル以外の場合

●下記の項目についてその位置を確認してください。
（1）給水給湯管・排水管位置
（2）建築側のガス管、電気配線接続位置
（3）レンジフードの排気口位置
（4）機器類の電気配線位置

●ガス種、電圧（１００V、２００V）、周波数（50Hz、60Hz）を確認してください。

※□内寸法は、ワークトップ高さ850mmの場合です。
ワークトップ高さ900mmの場合、□+50mmになります。

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1. キッチンパネルの取付（キッチンパネルを取付ける場合のみ）

キッチンパネル付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2. レンジフードの取付

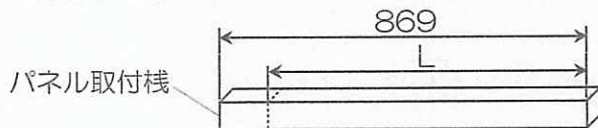
レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

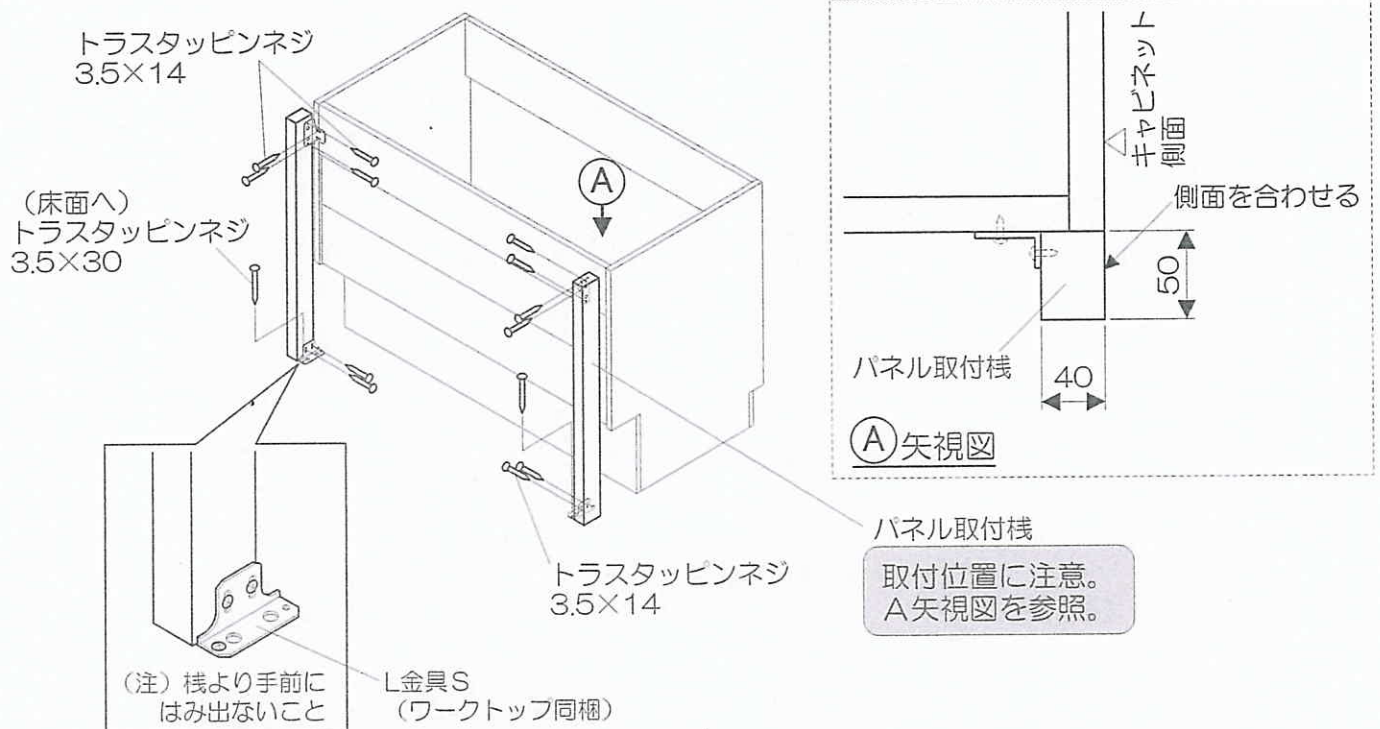
3. ベースキャビネット設置前の準備作業

【1. 台輪スペーサーの取付】（ワークトップ高さ900㎜の場合のみ）

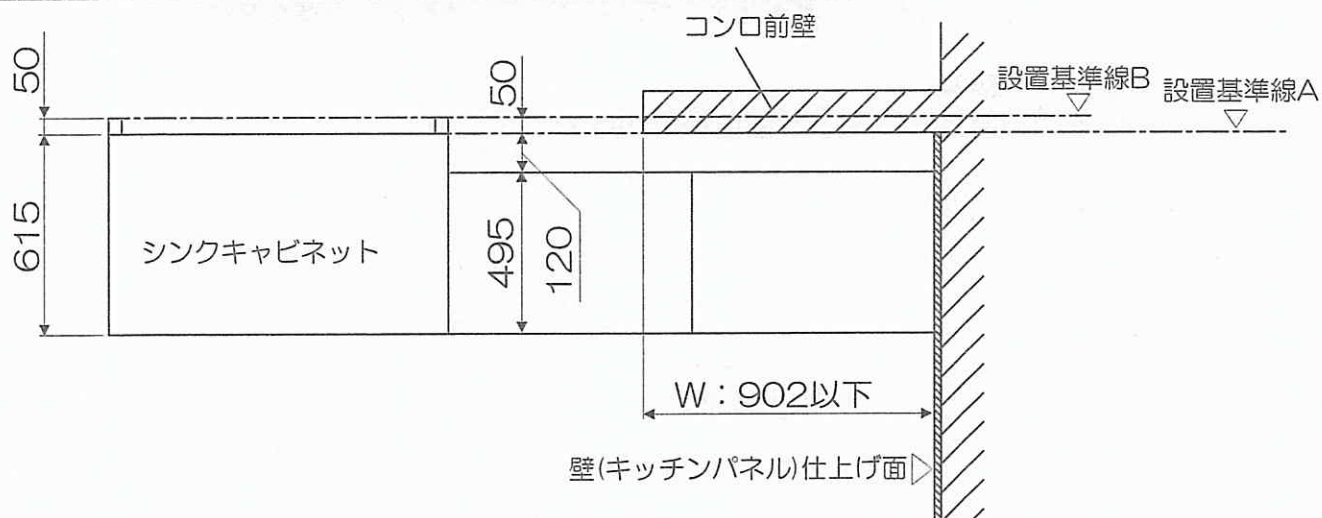
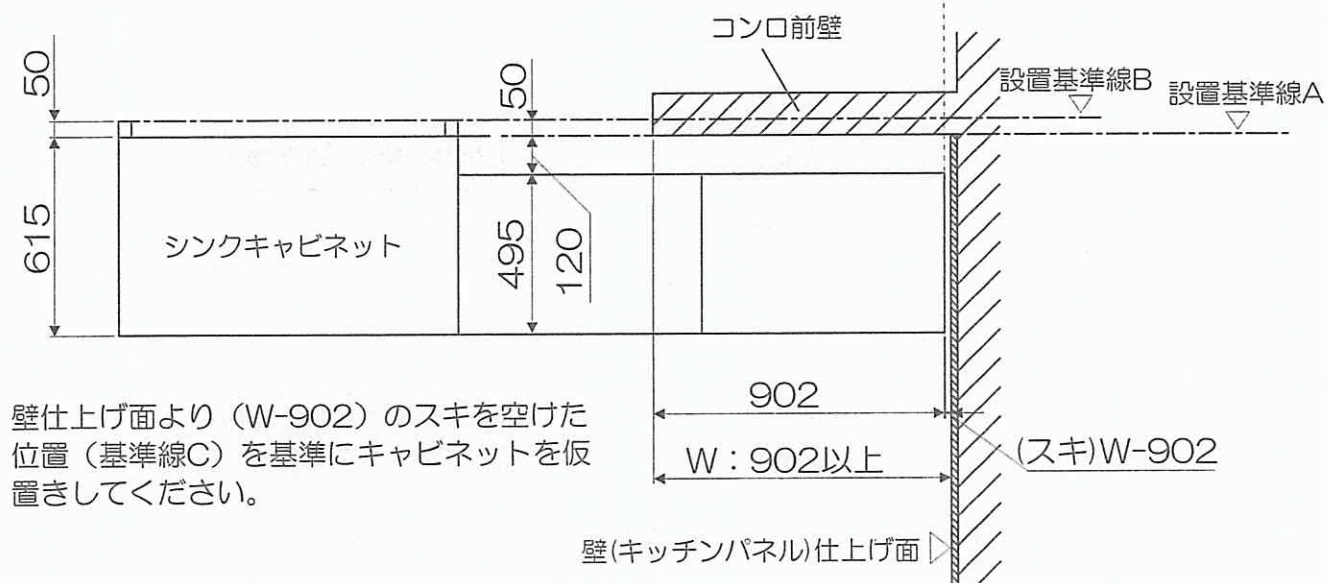
台輪スペーサー付属の設置説明書にしたがって行ってください。

【2. パネル取付桟の取付】

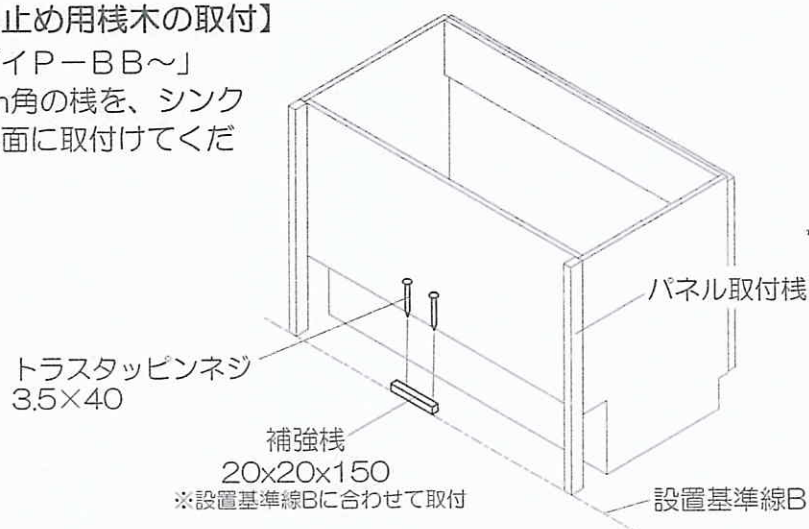
①「ブザイP－BB270」に同梱している2本の桟を、右記の寸法に加工してください。

ワークトップ高さ（mm）	L寸法（mm）
850	819
900	869（カット不要）

②桟をシンクキャビネットの側板背面に取付けてください。

【3. キャビネットの仮置き・床面のレベル出し】

下図のように、設置基準線A、B、Cをそれぞれ罫書き、設置基準線を基準に側壁側からキャビネットを仮置きします。床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。

壁仕上げ面からコンロ前壁端面までが902mm以下の場合

壁仕上げ面からコンロ前壁端面までが902mm以上の場合

壁仕上げ面より（W-902）のスキを空けた位置（基準線C）を基準にキャビネットを仮置きしてください。

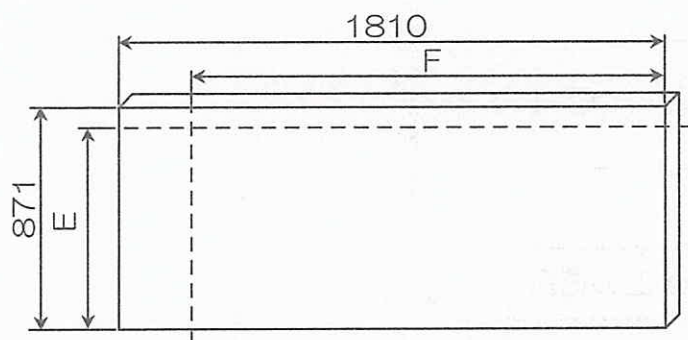
【4. バックパネル振れ止め用桟木の取付】

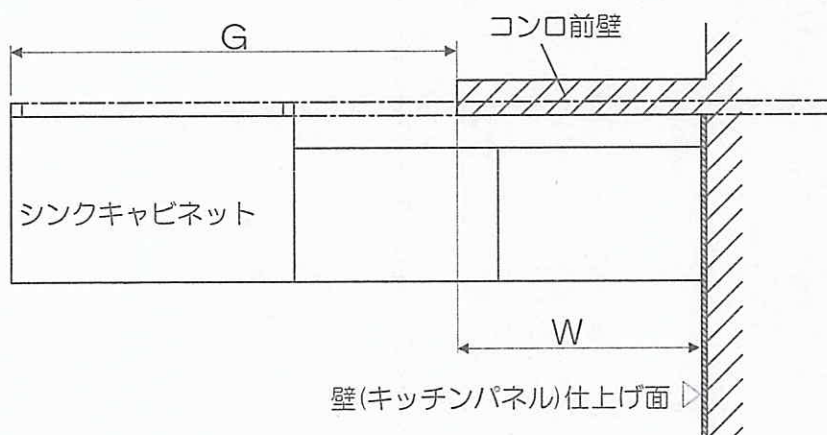
右図のように、「ブザイP－BB～」に同梱している20mm角の桟を、シンクキャビネット後方の床面に取付けてください。

4. ベースキャビネットの設置

【1. 扉・引出しの取りはずし】
シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネットの設置」の項を参照してください。

【2. キャビネットの連結】
シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネットの設置」の項を参照してください。

【3. ビルトインレンジの設置】
キャビネットの設置と同時に所定の位置に器具本体を設置してください。

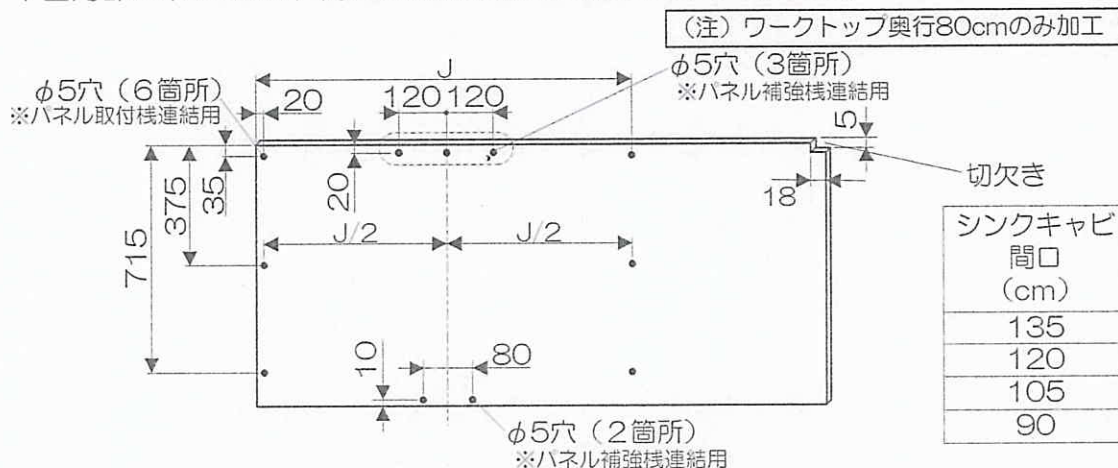
【4. バックパネル下地の組立】
①バックパネル下地（素地ボードｔ15mm）を、それぞれ下記の寸法に加工してください。

ワークトップ高さ（mm）	E寸法（mm）
850	821
900	871（カット不要）

F寸法はキャビネット設置状況に合わせて加工してください。

W寸法が902以上の場合

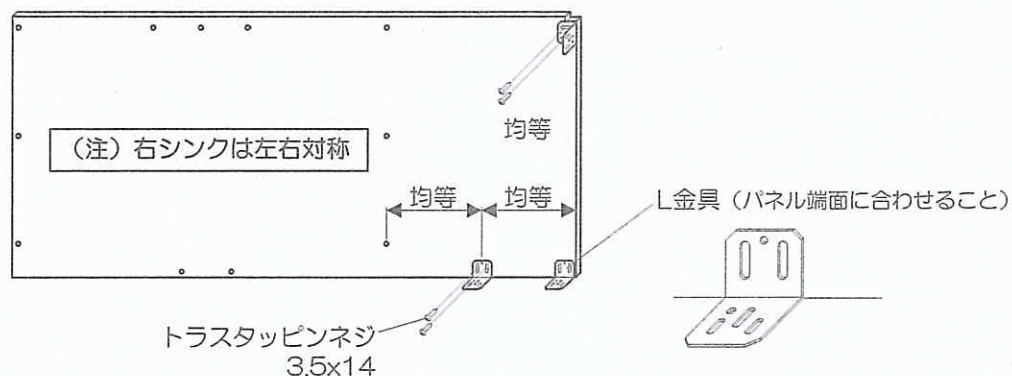
セット間口（cm）	F寸法（mm）
270	1797
255	1647
240	1497

W寸法が902以下の場合

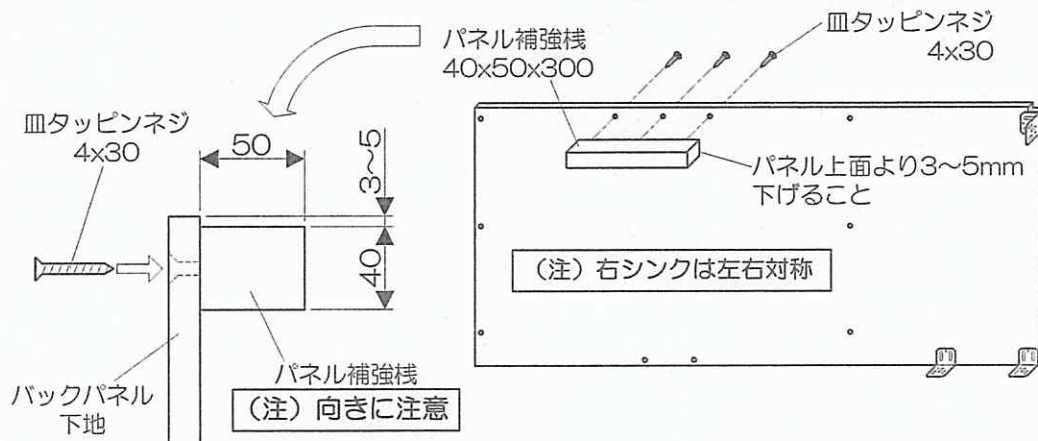
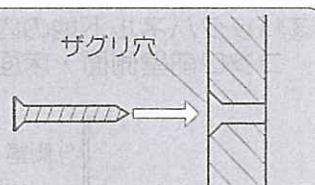
F寸法はシンクキャビネット端からコンロ前壁までの寸法より1mm短くしてください。
F＝G-1（mm）

②バックパネル下地の下図の位置に、φ5の穴加工をしてください。
下図角部に巾18mm、高さ5mmの切欠き加工をしてください。

シンクキャビ間口（cm）	J寸法（mm）
135	1330
120	1180
105	1030
90	880

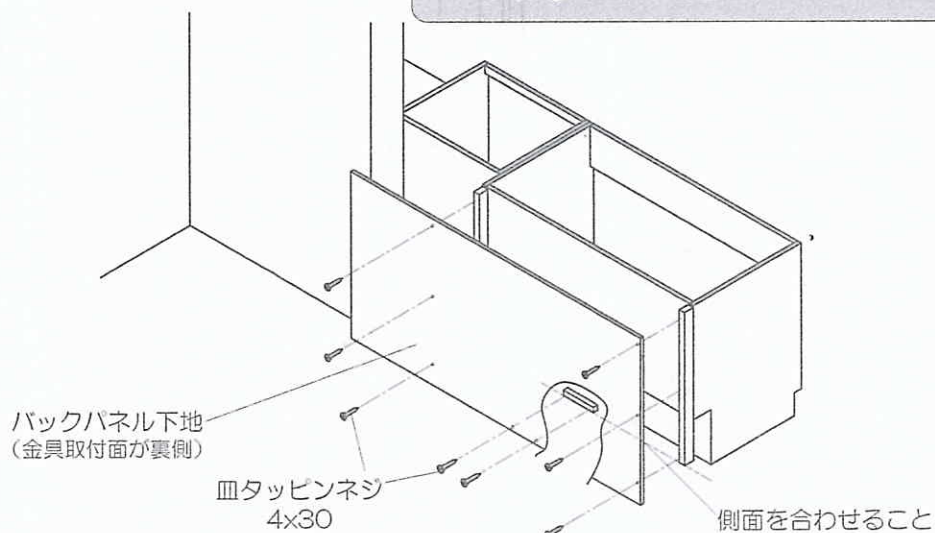
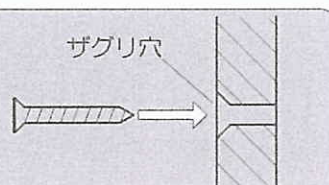
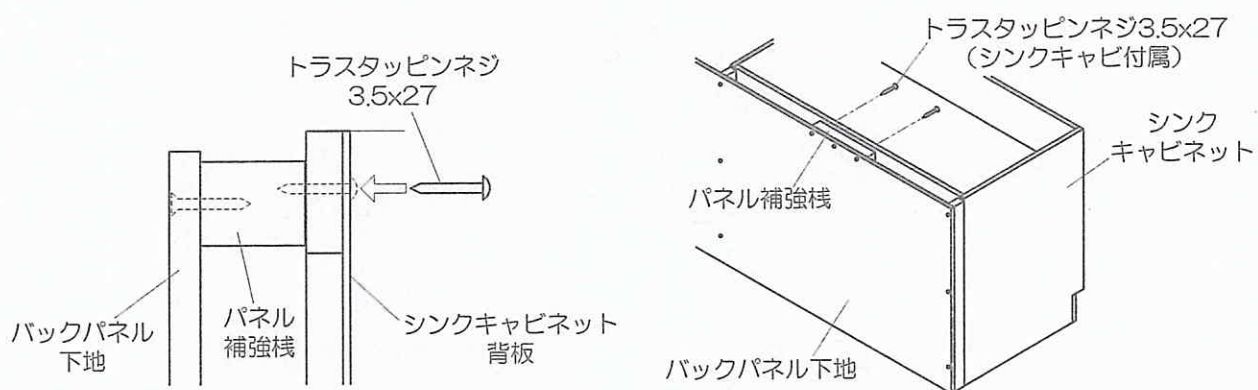
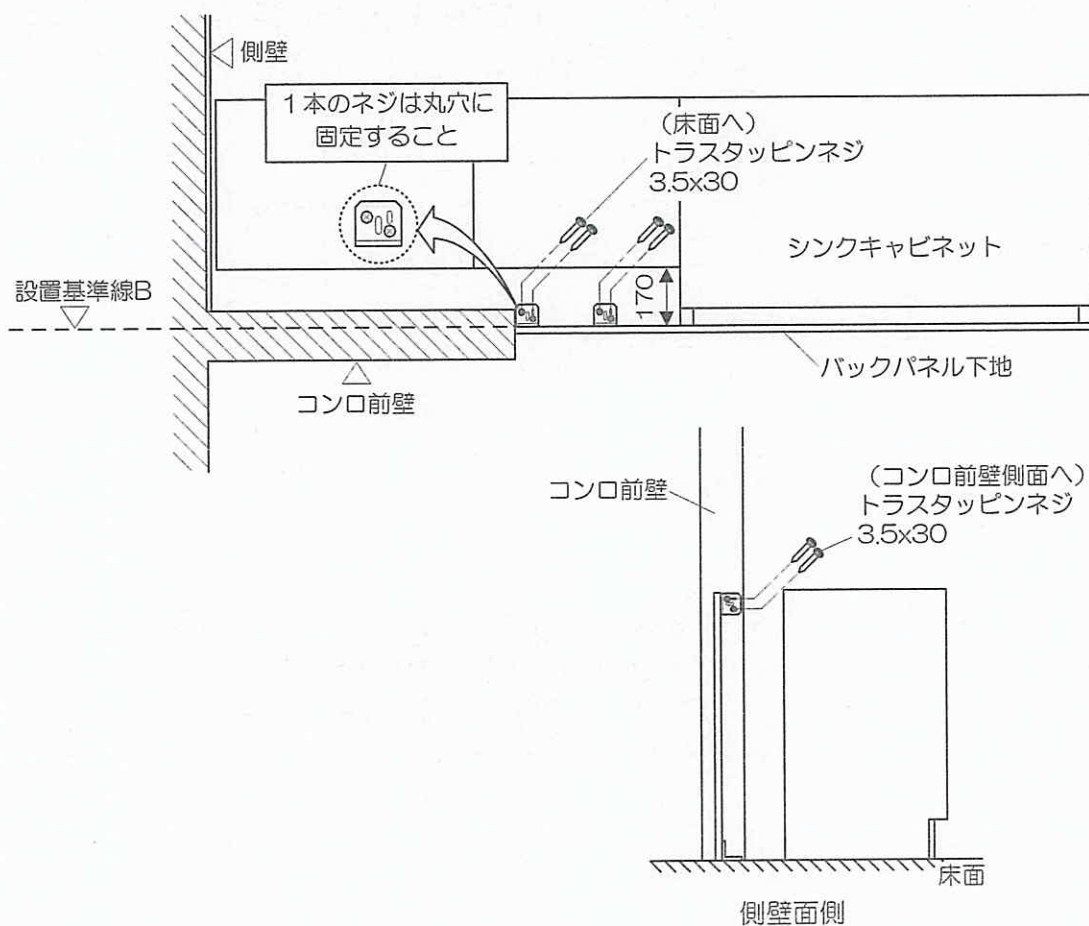
③バックパネル下地に、ワークトップ付属のＬ金具を下図の位置に取付けてください。

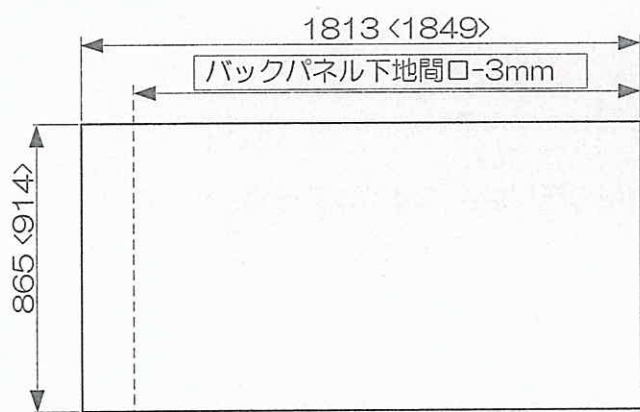
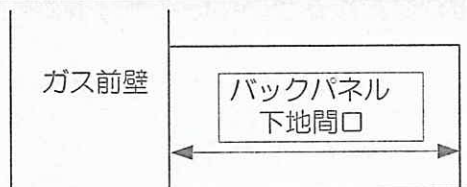
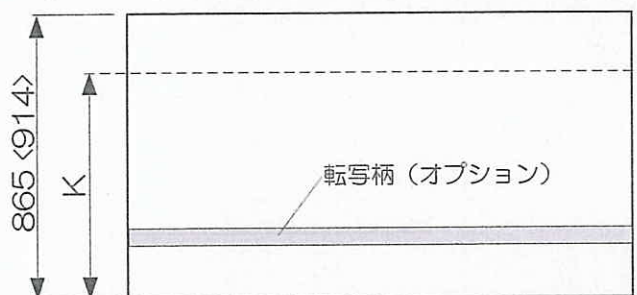
注）図は左シンクの場合を示しています。右シンクの場合は左右対称に加工してください。

④（ワークトップ奥行80cmの場合のみ）パネル補強桟(L=300)を、バックパネル下地裏面の下図の位置にワークトップ付属のネジで固定してください。

注）図は左シンクの場合を示しています。右シンクの場合は左右対称に加工してください。

注）ネジ頭がパネル表面より出ないように、あらかじめネジ穴に皿ザグリ加工をしてからネジ打ちしてください。

【5. バックパネル下地の取付】

①バックパネル下地を、シンクキャビネット背面の桟に、ワークトップ付属のネジで固定してください。

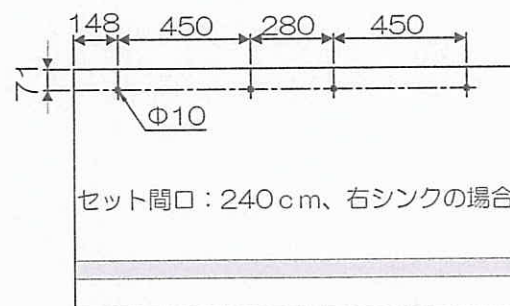
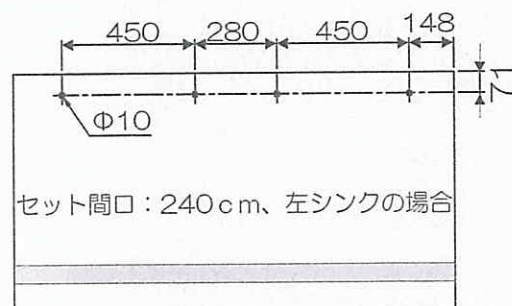
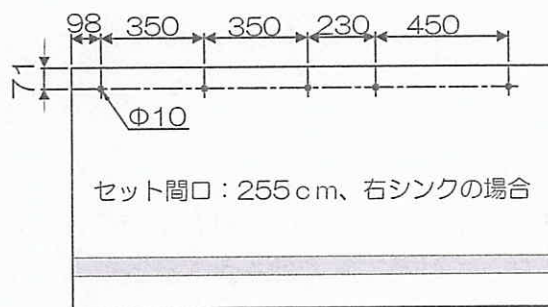
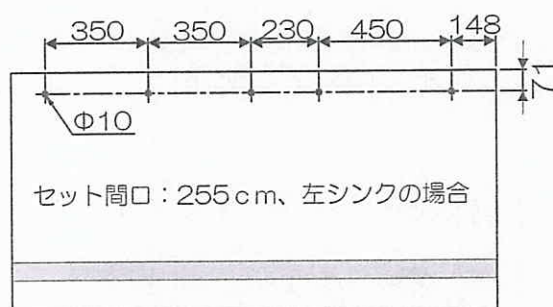
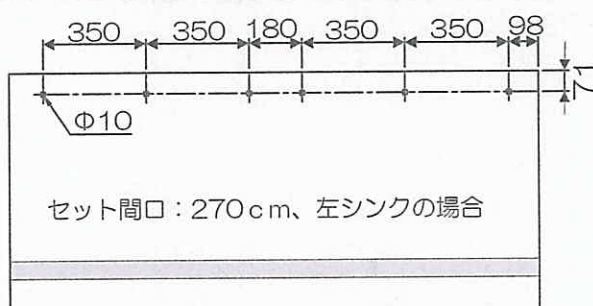
注）ネジ頭がバックパネル表面より出ないように、あらかじめネジ穴に皿ザグリ加工をしてからネジ打ちしてください。

②（ワークトップ奥行80cmの場合のみ）シンクキャビネットの背板からパネル補強桟(L=300)にネジ固定してください。

③バックパネル下地の内側を設置基準線Bに合わせて、バックパネル下地に取付けたL金具よりコンロ前壁側面・床面にワークトップ付属のネジで固定してください。

【6. ホーロー製バックパネルの取付】（木製バックパネルの場合は不要）

①バックパネル（ホーローパネル）の間口をカットしてください。

注）●切断には必ず専用刃物（カッターKP-80S）を用いてください。
上記以外の工具で加工しますとホーローに大きいダメージが発生するおそれがあります。
●バックパネルに付属の設置説明書がある場はその指示にしたがってカットしてください。

②バックパネルの高さを下記の寸法にカットしてください。

ワークトップ高さ（mm）	K寸法（mm）
850	815
900	865（カット不要）

注）転写柄付きでバックパネルに設置説明書が付属していない場合は転写柄と反対側をカットしてください。

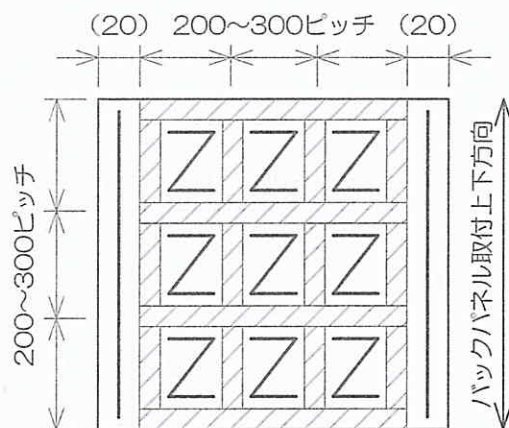
※〈 〉内寸法はHタイプホローパネルの場合

③バックパネルの下記の位置に貫通穴（φ10程度）を開けてください。（天板奥行80ｃｍタイプは不要）

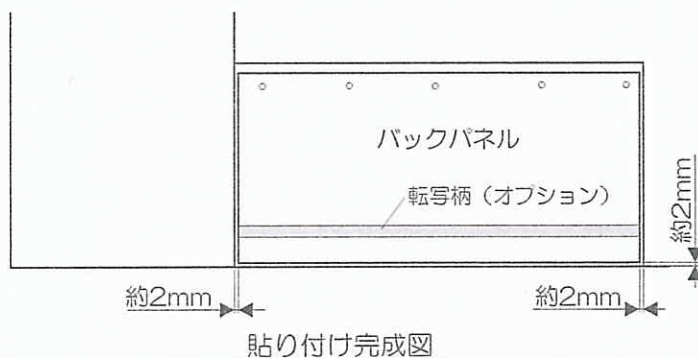
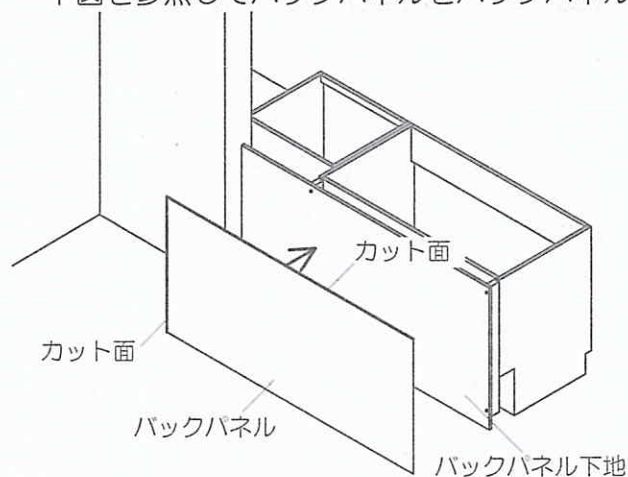
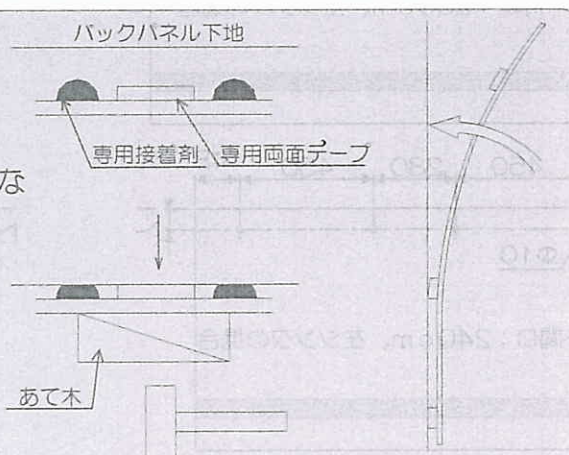
注）穴はバックパネルの上側に開けてください。

④切断したバックパネルのカット面及び穴加工部に対し防錆剤を塗布してください。

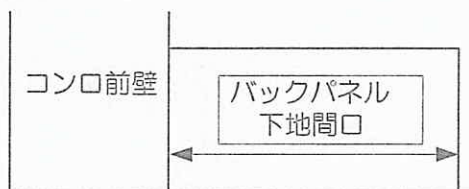
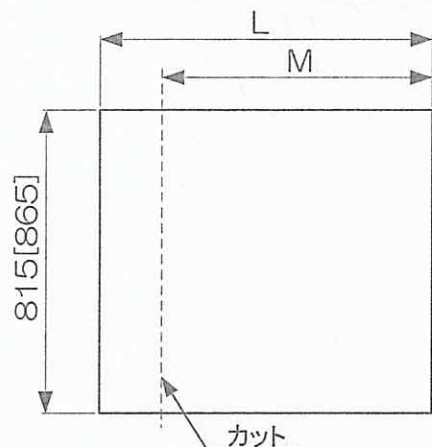
注）●カット面にバリがある場合、ヤスリで仕上げてください。
●カット面が油等で汚れている場合、よくふき取ってください。
●必ず専用防錆剤(KP防錆剤セットN)を使用してください。
●防錆剤は防錆成分が沈殿していますので、使用の際にはよく撹拌してお使いください。
●塗布は塗りムラの無いよう行ってください。

⑤貼付面(バックパネル裏面)のほこり等をふき取って、所定位置に専用両面テープを貼付して、テープ離型紙の上からよく押さえつけ確実に貼付してください。

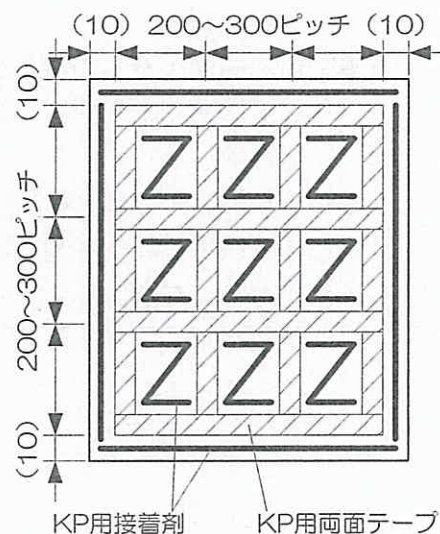
注）●テープ貼付ピッチは約200~300mmとしてください。
●外周部はバックパネル端部より20mm程度ひかえて貼付してください。

⑥バックパネル裏面の所定位置に専用接着剤を塗布してください。

ご注意：●標準塗布量は1m当り約20mlです。（接着剤太さ約5mm程度）
●図に示す外周部の塗布を必ず行なってください。
●塗布後15分以内にバックパネル取付を行なってください。

⑦バックパネル下地表面のほこり等をふき取り、⑤で貼付した両面テープの離型紙をはがし、下図を参照してバックパネルをバックパネル下地に貼付けてください。

注）●取付は両面テープの位置を手の平、もしくはあて木で押さえて行ってください。
●バックパネル端部よりしごきあげる様な状態で順次下地に押し付け取付けてください。

【7. 木製バックパネルの取付】（木製バックパネルの場合のみ、ホーロー製バックパネルは不要）

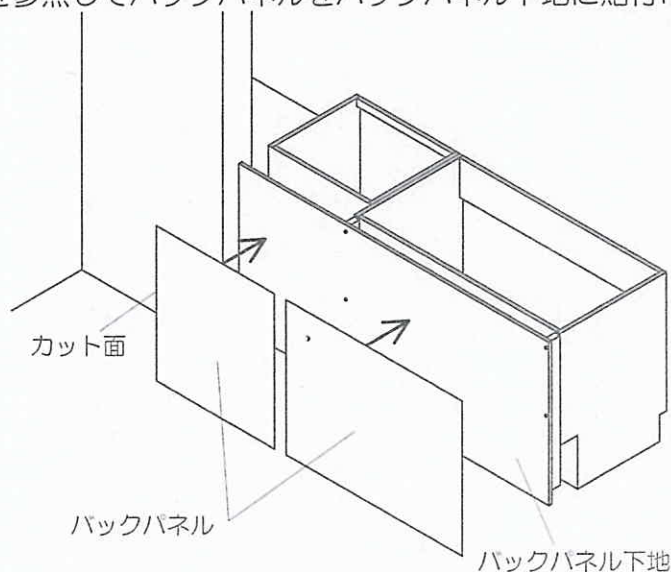
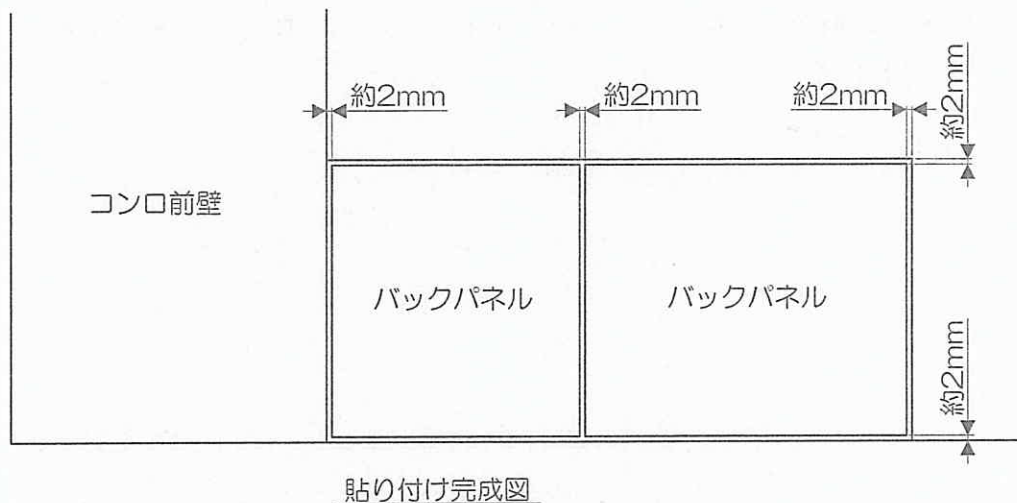
①バックパネルの内、1枚のみを下記の寸法にカットしてください。

セット間口	L寸法（mm）	M寸法（mm）
270cm	905	バックパネル下地間口-910mm
255cm	897	バックパネル下地間口-902mm
240cm	897	バックパネル下地間口-752mm

③貼付面(バックパネル裏面)のほこり等をふき取って、所定位置にキッチンパネル用両面テープを貼付して、テープ離型紙の上からよく押さえつけ確実に貼付してください。

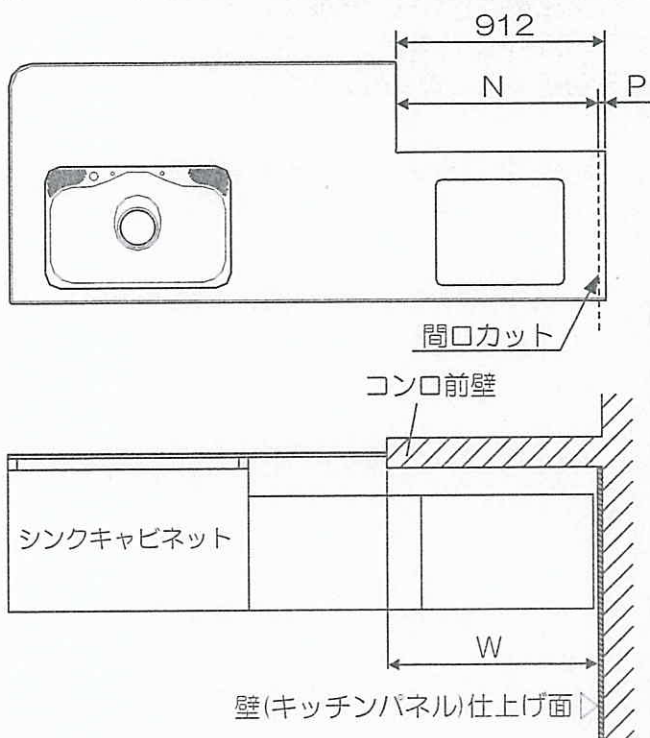
注）●テープ貼付ピッチは約200～300mmとしてください。
●外周部はバックパネル端部より10mm程度ひかえて貼付してください。

④バックパネル裏面の所定位置にキッチンパネル用接着剤を塗布してください。

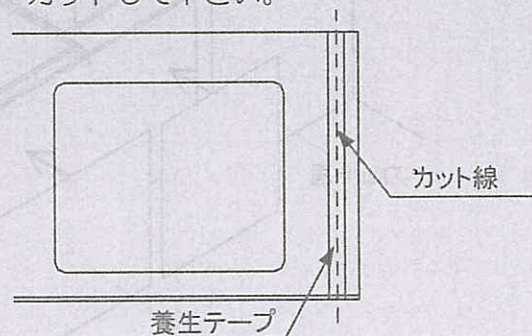
ご注意：●標準塗布量は1m当り約20mlです。（接着剤太さ約5mm程度）
●図に示す外周部の塗布を必ず行なってください。
●塗布後15分以内にバックパネル取付を行なってください。

⑤バックパネル下地表面のほこり等をふき取り、③で貼付した両面テープの離型紙をはがし、下図を参照してバックパネルをバックパネル下地に貼付けてください。

貼り付け完成図

注）●取付は両面テープの位置を手の平、もしくはあて木で押さえて行ってください。
●バックパネル端部よりしごきあげる様な状態で順次下地に押し付け取付けてください。

5. 天板の間口加工

天板のコンロ横調理スペースをコンロ前壁の間口状況に合わせ、下記寸法にカットしてください。

W寸法（mm）	N寸法（mm）	P寸法（mm）
902以下	902	10
902以上	W	912-W

注）●カット線上に養生テープを貼ってからカットして下さい。

●N寸法が902未満にならないようにして下さい。

6．水栓の取付

【1．水栓穴の加工】

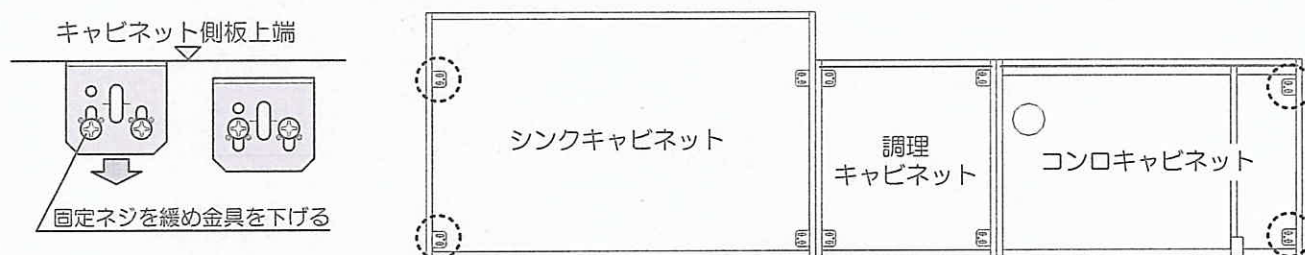
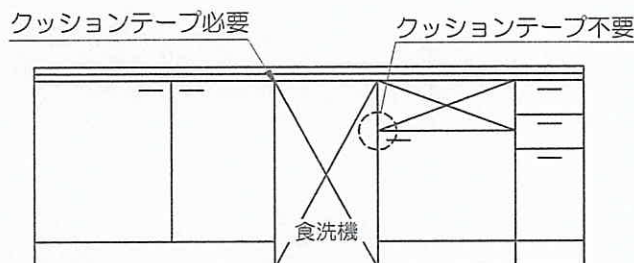
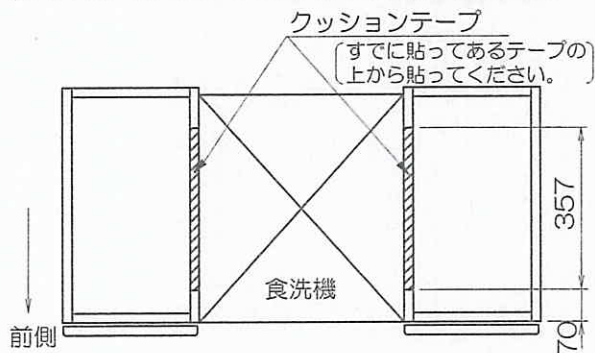
水栓穴の加工方法は、シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネットの設置」の項を参照してください。

【2．水栓の取付】

水栓およびオプション水栓（アルカリ清水器・浄水器専用水栓）はそれぞれに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

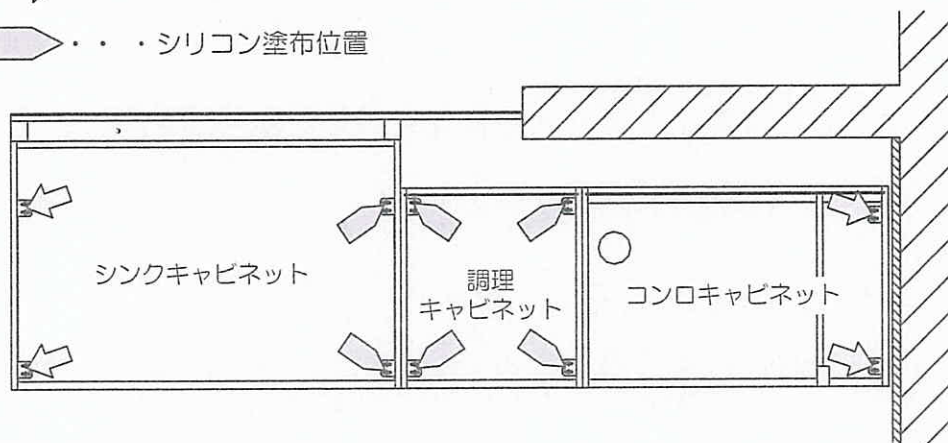
7．ワークトップの設置

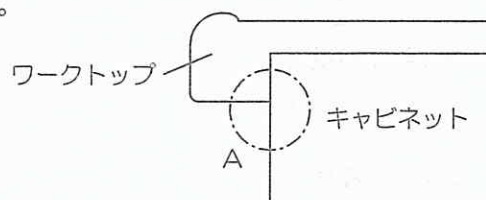
【ワークトップ設置前の準備】

①セット両端のL金具の取付ネジをゆるめてL金具を下方へずらし再度取付ネジを締め込んでください。

②食洗機に隣接するキャビネットの側板上面所定の位置にクッションテープを貼り付けてください。
（ただしコンロキャビネットの場合は不要）

【ワークトップの設置】

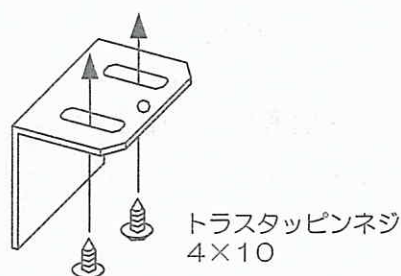
①隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

（例）⇨・・・ネジ固定位置

➡・・・シリコン塗布位置

②ワークトップをキャビネットにのせ、キャビネット前部とワークトップ前下り部との間（A部）にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

注）●キャビネットに乗せる際に、シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。
●ワークトップ裏面の化粧裏貼材とキャビネットが干渉していないか、必ず確認してください。

③天板補強桟の取付（コンロと食洗機が隣接する場合のみ）
シンクキャビネットに付属の『システムキッチン設置説明書』を参照してください。

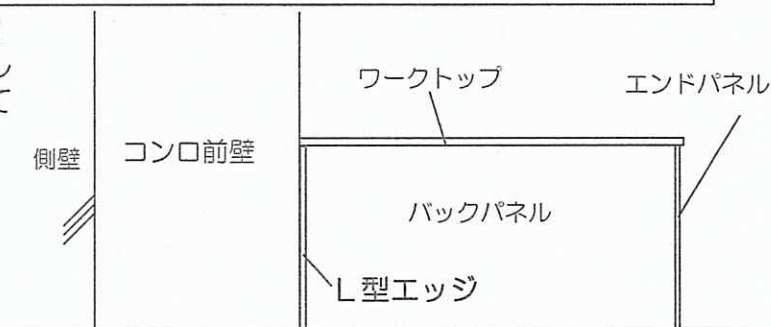
④ワークトップ設置前の準備で取付けたＬ金具より、ワークトップをネジで固定してください。

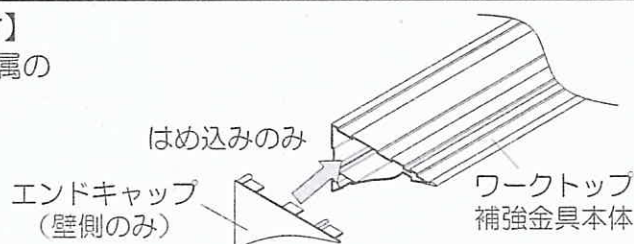
注）●Ｌ金具の長穴のセンター付近にネジを打ってください。
●ワークトップ上におもりを置いてシリコンが硬化するまで１日以上養生してください。

8. エンドパネルの取付

シンクキャビネットまたはエンドパネル本体に付属の設置説明書にしたがって行ってください。

9. バックパネル用エッジの取付（壁側のみ）（天板奥行104.5cmタイプのみ）

バックパネルに付属のL型エッジを、所定の長さにカットして、内面にシリコン（キッチンパネルシーリング用）を塗布し、下図のように取付けてください。（コンロ前壁側の一箇所のみ）
※Hタイプホーローパネルの場合、BPエッジセットのL型エッジを使用してください。

注）残りのエッジはワークトップ補強金具取付後に取付けます。

10. ワークトップ補強金具FB30の取付（天板奥行104.5cmタイプのみ）

【1．エンドキャップ（壁側のみ）の取付】
ワークトップ補強金具FB30の壁側のみ、付属のエンドキャップを取付けてください。

【2．ワークトップ補強金具本体の取付】

ワークトップ補強金具本体を、所定の位置に付属のネジで取付けてください。

（バックパネル側）
トラスタッピンネジ4x20
ワークトップ補強金具
ワークトップ裏面
エンドキャップ
壁面
バックパネル
（ワークトップ裏面側）
トラスタッピンネジ4x16
エンドパネル

注）ワークトップ補強金具の端をバックパネルとエンドパネルの継目に合わせてください。

注）天板とワークトップ補強金具との間にスキを空けないようにしてください。

（ワークトップ裏面側）
トラスタッピンネジ4x16
ワークトップ補強金具
（バックパネル側）
トラスタッピンネジ4x20
断面図

注）●ワークトップ裏面へは、長さ16mmのネジを必ず使用してください。長さ20mmのネジでは、ネジが完全に締まりません。
●ワークトップの先端部と床との間につっかえ棒などを入れて、垂れ下がりを矯正した上で、補強金具を取付けてください。

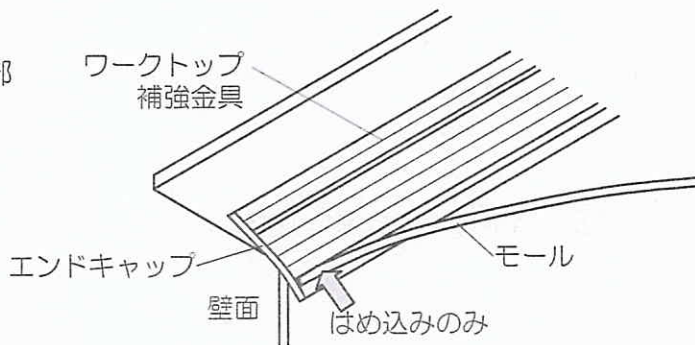
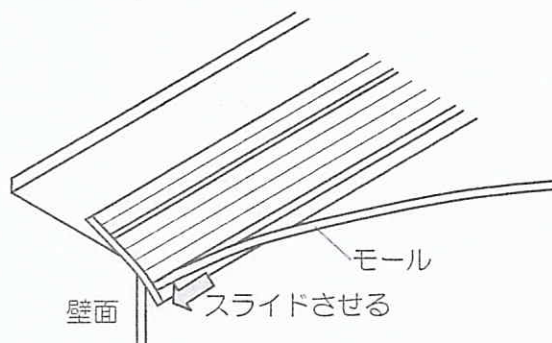
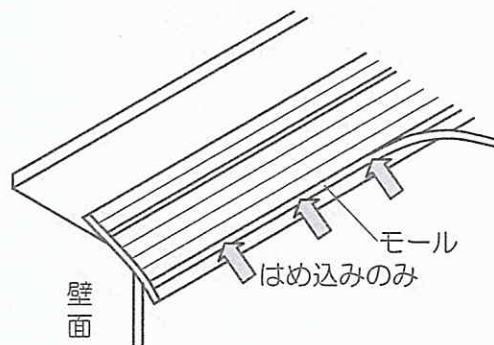
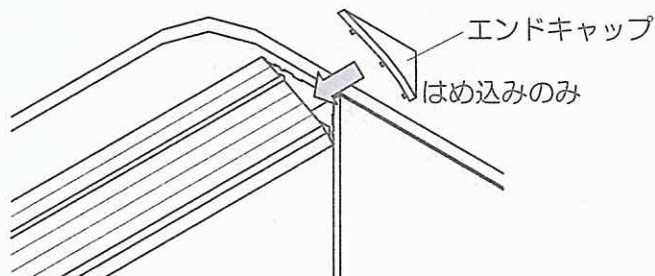
水平になるように
ワークトップ
垂れ下がりを矯正
補強金具
つっかえ棒
床面

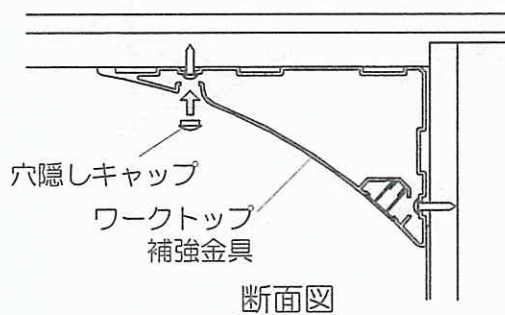
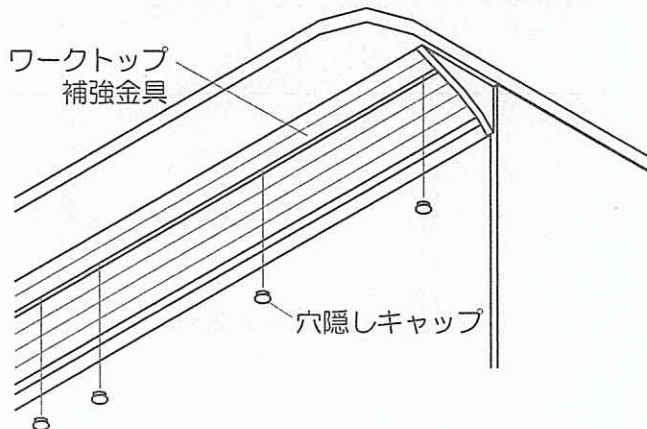
【3．モールの取付】

付属のモール（アルミ製）をワークトップ補強金具に取付けてください。

注）ハンマー等の硬い工具は使用しないでください。表面を傷つけるおそれがあります。

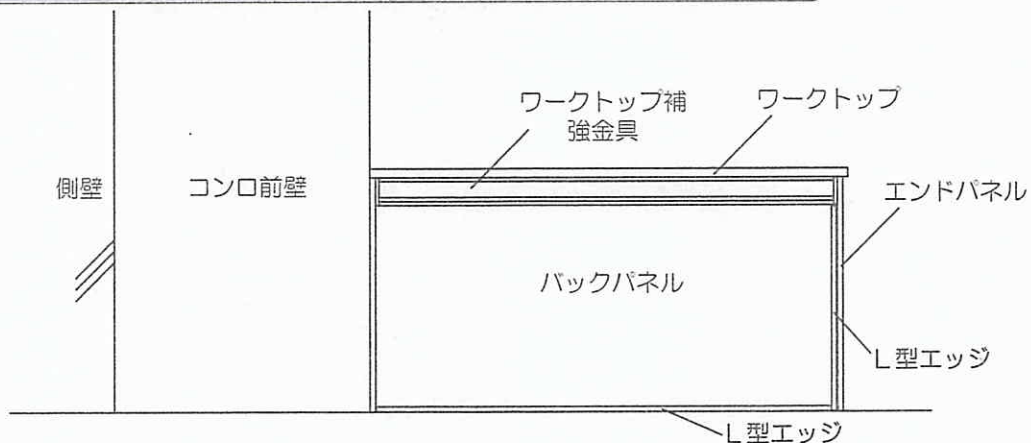
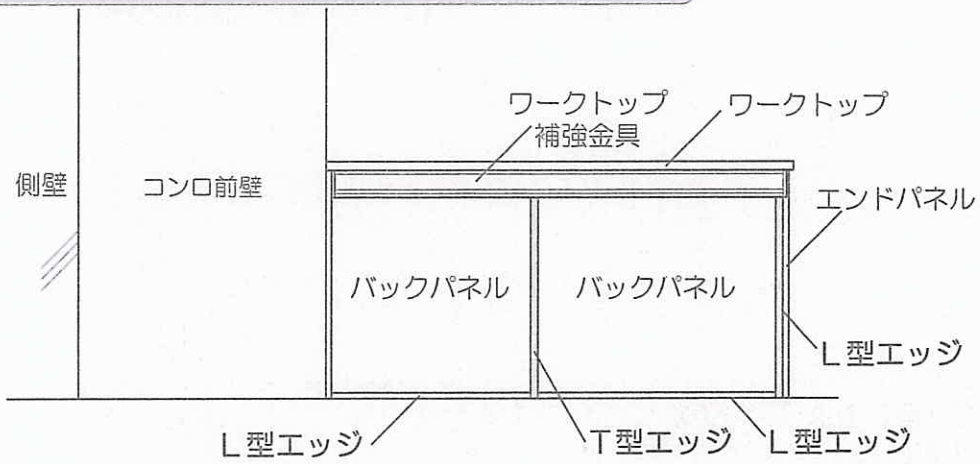
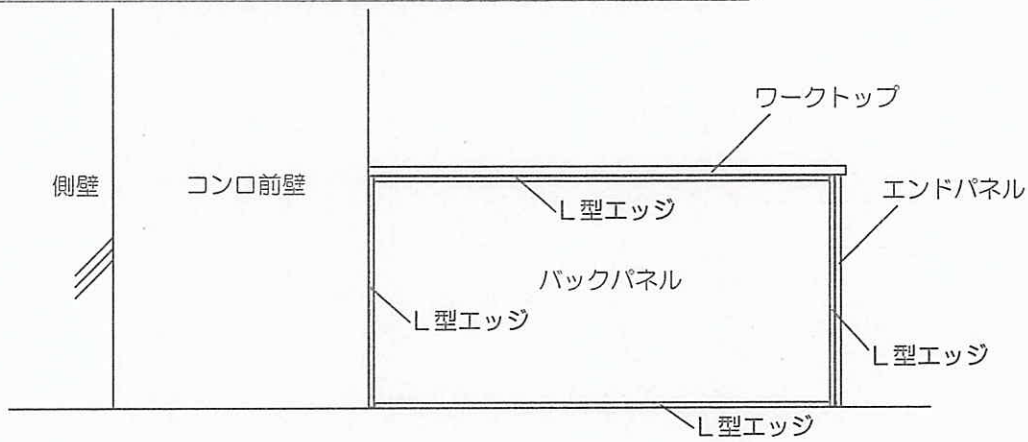
取付順序

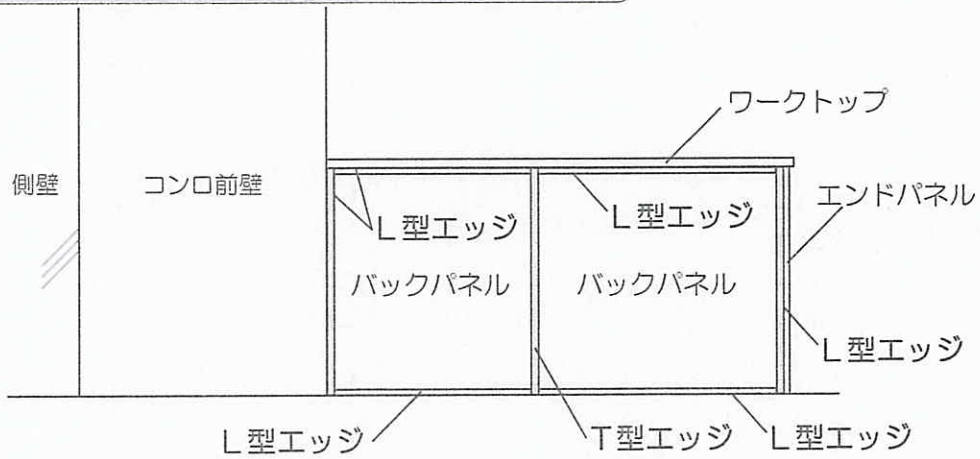
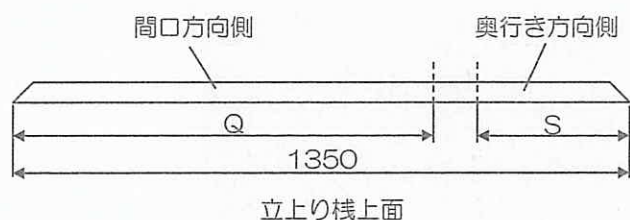
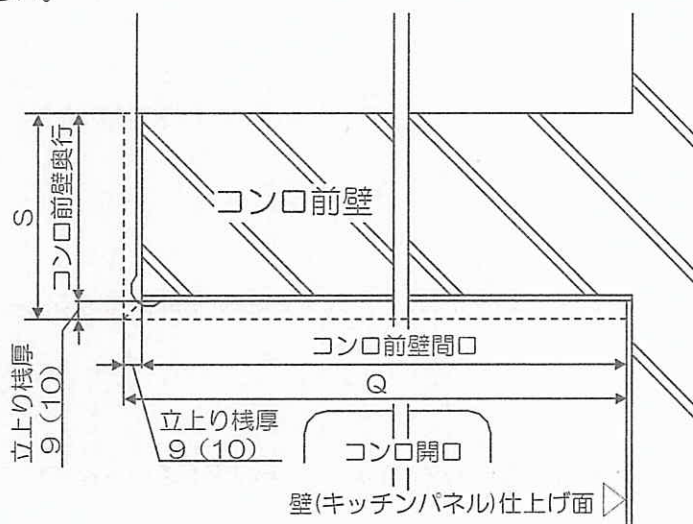
①補強金具のクローズ側にモールの先端部をはめ込んでください。

②モールをスライドさせてエンドキャップ（壁面側）にのみこませてください。

③モールを補強金具に完全にはめ込んでください。

④最後にオープン側のエンドキャップを取付けてください。

【4．穴隠しキャップの取付】

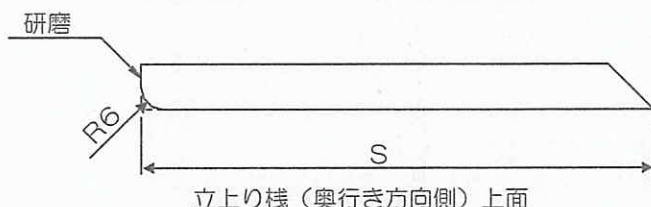
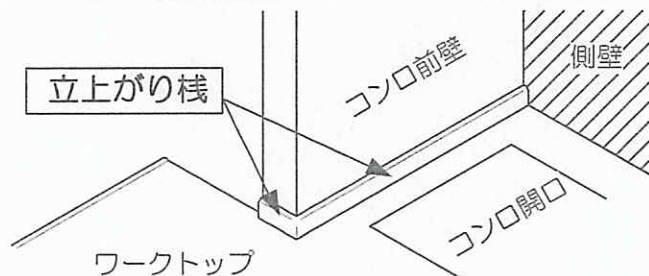
付属の穴隠しキャップをワークトップ補強金具のネジ穴に取付けてください。

11．バックパネル用エッジの取付

バックパネルに付属のエッジを、所定の長さにカットして、内面にシリコン（キッチンパネルシーリング用）を塗布し、下図のように取付けてください。

※Hタイプホーローパネルの場合、BPエッジセットのエッジを使用してください。

・ホーロー製バックパネル、天板奥行104.5ｃｍタイプの場合

・木製バックパネル、天板奥行104.5ｃｍタイプの場合

・ホーロー製バックパネル、天板奥行80ｃｍタイプの場合

・木製バックパネル、天板奥行80ｃｍタイプの場合

12. 立上り桟の取付

①立上り桟を下記寸法に合わせてカットしてください。

注）●立上り桟の長さは壁寸法より、立上り桟厚分長くなります。
●右シンクは左右対称。

※（ ）内寸法は、人大シンクの場合

②奥行き方向側の立上り桟のカット面を研磨、R加工して下さい。

③立上り桟を瞬間接着剤でワークトップに貼付して下さい。

注）●コンロ前壁との間にスキマがないように取付けてください。

13. 機器類、各部品の取付

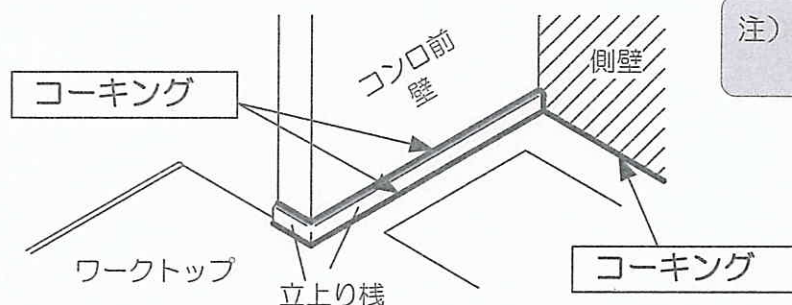
加熱器具・食器洗い乾燥機など機器類の設置方法は、機器本体に付属の設置説明書と、シンクキャビネットに付属の設置説明書を合わせて参照してください。
また、排水部品・収納部品などの取付や、給水管・排水管の接続方法なども、シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照してください。

14. 扉の調整

扉の調整方法は、シンクキャビネットに付属の設置説明書の「扉の調整」の項を参照してください。

5. 仕上げ

【1．コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2．清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水ぶき、空ぶきを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1．安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2．組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1．商品の養生】

すべての作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2．取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3．梱包材その他取付部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。